

いのちの電話とは

1. はじまり

1953年ロンドンのイギリス国教会牧師チャド・バラが、ロンドンタイムスに自分の名前と電話番号とともに「あなたのいのちを絶つ前に、私に電話してください。」という1行の広告を出しました。これが「サマリタnz（善き隣人）運動」の始まりです。日本での活動は、ドイツ人宣教師ルツ・ヘットカンブらが中心となって、1971年、東京で「いのちの電話」が始まりました。

2. 使命

いのちの電話の使命は、「自殺予防」です。2003年に全国の自殺者数は、最多の34,427人となりましたが、その後、減少傾向が続き、2019年は20,169人になりました。しかし、近年はコロナ禍の影響もあり、昨年まで、年間2万人以上の方が自ら命を絶つ選択をされています（2024年の自殺者数は20,320人）。

SNSなどによるコミュニケーションが一般的となった現在でも、電話による自殺予防を使命とする「いのちの電話」には、毎日、対応しきれない数の相談電話がかかっており、その役割・使命は、社会にとって重要なものだと感じています。

3. つながり

1977年、日本いのちの電話連盟が発足しました。1971年に東京で始まった活動は全国に拡大して、2024年時点では、全国50センターが活動しています。またフリーダイヤル、ナビダイヤル、インターネット相談など、活動の広がりや全国の協力体制が整えられました。世界では100を超える国と地域で、名称は異なりますが「いのちの電話」の活動が行われています。

4. 愛知いのちの電話

1985年7月、「愛知いのちの電話」が発足しました。1990年には「社会福祉法人 愛知いのちの電話協会」として認可を受け、1999年5月から、365日・24時間受信体制をとっています。またインターネット相談も、2015年3月から始まりました。相談員は専門家の研修を1年間受け、その後もプロの聴き方を学び続けながら悩みを抱える人の心に寄り添う無償ボランティアとして活動をしています。

*2024年全国相談件数 576,507件（うち愛知 14,230件）

ご支援、ご協力をお願い

賛助会費（年間1口）

個人	A	10,000円	B	5,000円	C	3,000円
法人	A	200,000円	B	100,000円	C	50,000円

賛助会費とは別に随時、金額を問わずご寄付をいただいております。

これらの事業への寄付は税法上優遇されます。

賛助会員には、機関紙をお送りして、活動状況をご報告しております。

〈銀行振込〉三菱UFJ銀行 大津町支店（普通）477029

口座名義：社会福祉法人 愛知いのちの電話協会

〈郵便振替〉00810-8-53758

口座名義：社会福祉法人 愛知いのちの電話協会

個人のみなさまは、ご連絡先が必要ですので「郵便振替」でお振込みください。

社会福祉法人 愛知いのちの電話協会 事務局

TEL (052) 508-8381 FAX (052) 508-8384

URL <https://www.nagoya-inochi.jp>

E-mail info@nagoya-inochi.jp